



討議資料

# 県議会報告



## 公平・公正な政治について

平成29年6月定例会は6月21日から始まり、補正予算など10件の議案を審議し7月7日に閉会しました。

今議会の最大の関心事であった「空母艦載機岩国移駐」について知事は簡単に容認しました。この件に関しては開催予定の集会で詳しく報告します。

今議会の一般質問議員は14名、私は県政の課題4点につき25回目の質問をしました。残念ながら明快な答弁は得られませんでした。

### 質問

① 北朝鮮のミサイル攻撃に対する不安が高まっています。これ以上市民を危険にさらさないよう、朝鮮半島の緊張が緩和されるまで、艦載機の移駐の延期を求めべきです。

② 紛争が発生した場合に備えて、あらゆる事態を想定した長期的全体計画の策定、シェルターや避難場所の確保を行うとともに必要な訓練を実施すべきです。

## 米軍岩国基地問題について

① 北朝鮮のミサイル攻撃に対する不安が高まっています。これ以上市民を危険にさらさないよう、朝鮮半島の緊張が緩和されるまで、艦載機の移駐の延期を求め、必要な訓練を実施すべきです。

② 国の要請を踏まえ、ミサイルへの対応方法についてホームページを活用して周知を図るとともに、市民を対象に避難訓練に関する研修会を開催しました。岩国市でも、緊急情報の伝達訓練などが行われました。今後とも、必要な支援をします。

### 質問

① 公文書の定義と管理、保存の方法を教えてください。

② 政治家からの不当な口利きや働きかけが行われた場合には、どのように対応するのですか。また、そうした事例はありますか。

### 答弁

① 「文書取扱規程」により、職員が職務上作成又は取得した文書を公文書とし、種類ごとに1年から永年までの保存期間が定められています。

② 平成19年に定められた「県



### 森友・加計学園をはじめ政治家の口利きは全国どこでも日常茶飯事だと思います。山口県ではそうした事例がないというのは、実態が隠されているように逆心に心配になります。

職員の対応要綱」により、不当な働きかけ等があった場合、記録を作成し、知事に報告することになっていますが、これまでに該当はありません。

移駐予定のF A18A ホーネット戦闘攻撃機



### 答弁

① 北朝鮮情勢については、国の責任で国民に不安を与えることがないよう、適切に対応して



### 「移駐を当面待つてくれ」と、なぜ言えないのでしょうか。単発の訓練ではなく、有事を想定した総合的対策が必要です。国民の安全が根底から脅かされるという緊急事態なのに、何事も国任せで、県の危機感が足りません。

「移駐を当面待つてくれ」と、なぜ言えないのでしょうか。単発の訓練ではなく、有事を想定した総合的対策が必要です。国民の安全が根底から脅かされるという緊急事態なのに、何事も国任せで、県の危機感が足りません。

### 投稿

#### 艦載機移駐容認を憂う

「米空母艦載機の岩国移駐」について、一独自の意見表明をすることもなく、政府の問題発生からおおよそ10年、知事は一度も、地元住民の声を聞くことも視察することもなく、また、知事についてはこれからも厳しく見つめよう。

# 愛宕山の米軍施設について

## 質問

① スポーツ施設は、日米の共同使用とされていますが、施設の維持管理はどこが行うのですか。また、司法警察権は日米どちらに属するのですか。

② 愛宕山用地等の今後の米軍への提供手続きはどのように行われるのですか。愛宕山に米軍基地ができれば、まちづくりの大きな障害になり、「影響が軽微」とはともいえず、法律に基づき知事の意見聴取を求めべきです。

## 答弁

① スポーツ施設の維持管理は、米軍及び岩国市で役割分担をすることを基本とし、警察権の取扱いも含め、現在、協議中とのことです。

② スポーツ施設については、完成後、米側への提供手続きが行われる予定ですが、知事へ意見聴取するかどうかについては、国が政令に基づき適正に進められるものと考えています。



愛宕山の米軍住宅

「草の根」の公開質問状に対する回答によると、自治体に対する意見聴取が行われたことは一度もなく、法律の規定が有名無実化しています。国防は国の専管事項と言われる中で、知事が意見を述べることでできる唯一の機会であり、有効に活用すべきです。



のコメント

# 地域医療と介護の充実について

## 質問

① 高齢化が進む中で、県が目指す地域医療の姿はどのようなものですか。

② 患者の立場に立った、医療機関相互、医療と介護の連携にどのように取り組んでいますか。

## 答弁

① 症状に適した質の高い医療が受けられるような地域医療の姿を目指しており、医師等の確保、救急医療体制の整備等に取り組んでいます。



のコメント

地方の医師不足の深刻化、全国的な病床数の削減も予定されていますが、高齢化が進む中で、さらなる地域医療の充実が求められます。

でいます。

② 医療機関の連携については、複数の医療機関が患者情報を共有するシステムの導入などを進めています。また、在宅医療と介護の連携のために、市町が配置するコーデイネーターの資質向上研修やケアプランの作成を行う介護支援専門員に対する研修を実施していきます。

# 議会TOPIC

## 国と地元市町のせいにして

空母艦載機の移駐を岩国市、周防大島町、和木町が相次いで容認する中で開かれたこの県議会では、与党側から容認を促すような質問があり、また一方で私を含め一部の議員からは移駐に反対する厳しい質問が多く出されました。

県の答弁では、国と地元市町の動きばかりが取り上げられ、県として県民の安全安心を守る姿勢が全く感じられず、とても残念でした。

## ダムの建設費 青天井

錦川上流に建設中の平瀬ダムの事業費に、120億円も追加される補正予算が上程されました。このダムは着工当初、約350億円ほどであったはずですが、今や860億円余りに膨れ上がりました。

このダムの必要性について、私は大変な疑問を持っています。その治水効果は限られている中で、多額の県費が投入されているのは、典型的な公費の無駄遣いだと言わざるを得ません。

## 傍聴記

私には初めての県議会傍聴でしたので、少し緊張して傍聴席に入りました。すがこさんの番になった時、大勢の人達が傍聴席いっぱいにならぬように、知事自らの考えなし

い入って来られびっくりしました。山口県民の安心安全は二の次で、再編交付金の要求だけはやっていますらしく、本当に山口県に住むのが嫌になってきました。(主婦・58歳)

知事自らの考えなし ひどい回答でした。